学校番号	2004

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学ＩA特講	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	ベーシックスタイル 数学演習Ⅰ・A 受験編　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は数学Ⅰと数学Aの演習講座（主に看護医療系）です。大学入試に出題されやすい典型的な問題から過去問まで解くことにより、自分で考える力や自分で解き切る力を身につけてもらいたいと思います。

2　学習の到達目標

高校１・２年で学習した基本的な公式・解法を体系的に理解するとともに、実際の問題で活用し、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。【知識及び技能】
数学Ⅰ・Aにおいて基礎から難易度の高い問題演習を行い、物事を多面的にとらえる力、課題を論理的に考察する力、新たな課題に応用し的確に表現する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】
身につけた力を様々なパターンに活用し、自ら新たな課題を設定し、解決する過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う【学びに向かう力、人間性等】

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な式の変形や公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。	問題を正確に読み取り、それに応じた数学的な考え方で問題を解き、表現できるか。	主体的に授業に取り組めるか。積極的に自分の考えを伝えたり、人の考えを聴いたりできるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期		数学ＩA問題集 (数と式・図形と計量・2次関数・データの分析・場合の数と確率・整数の性質・図形の性質)	a:基本的な式の変形や公式の利用ができる。 b:問題文から条件を読み取り、立式できる。解答として人に伝わる数学的表現ができる。 c:教え合いや別解を考えようとする。	小テスト プリント	プリント 考査	プリント 授業態度 発表
後期		数学ＩA過去問演習 (数と式・図形と計量・2次関数・データの分析・場合の数と確率・整数の性質・図形の性質)	a:やや手数の多い式変形や公式の利用ができる。 b:問題文から条件を読み取り、立式できる。解答として人に伝わる数学的表現ができる。 c:別解を考え、問題を多く解こうとする。	小テスト プリント	プリント 考査	プリント 授業態度 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度